



1



2

3

1. 小出選手からたすきを受け、勢いよく走りだす渡部選手
2. 大会最終日のスタートを切る菅選手（左から4人目）
3. 白鷹中継所では「日本の紅（あか）をつくる町」のうたで選手を鼓舞（こぶ）した

第61回山形県縦断駅伝競走大会 地域の思いをたすきでつなぐ

第61回山形県縦断駅伝競走大会が4月27日から29日の3日間で開催され、県内11チームの選手たちが1本のたすきに地域の思いを込め、新緑の山形路305.4kmを駆け抜けました。

今年、白鷹町からは11人の選手が長井西置賜チームで出走。大会2日目はあいにくの雨となりましたが、今年も白鷹中継所には多くの方が集まり、地元選手に熱い声援を送ると、選手もそれにこたえる走りを見せ、長井西置賜チームは昨年より順位を2つ上げる総合8位という結果を収めました。

《白鷹町出走選手》

渡部 功将 選手(山口)	樋口 冬把 選手(十王)
菅 桂太朗 選手(山口)	紺野 凌 選手(萩野)
高野 光 選手(深山)	紺野 圭汰 選手(萩野)
神居 寧 選手(鮎貝)	竹田 裕道 選手(滝野)
小出 央人 選手(荒砥)	遠藤 幸登 選手(広野)
手塚雄一朗 選手(十王)	



気持ちを新たに活躍を誓い合う 白鷹町スポーツ少年団合同結団式

4月9日、白鷹町スポーツ少年団の合同結団式が荒砥小学校体育館で行われました。

今年の団員は21団体439人。式では全団全員の入団が承認され、向田俊一本部長から各団に団旗が手渡されました。その後、団員を代表して、白鷹剣道スポーツ少年団の海老名芽依さんが力強く「誓（ちか）いのことば」を述べ、団員一人ひとりが今年1年の活躍を誓い合いました。



有事の際の正しい走行を学ぶ 白鷹町消防団安全運転技能講習会

4月17日、マツキドライビングスクール白鷹校において、白鷹町消防団安全運転技能講習会が初めて開かれました。

この講習会は、緊急車両の運転技術向上と走行時の事故防止を図ることを目的としたもので、団員約40人が参加。同校指導員が講師を務め、適切な速度での走行、S字でのバック走行、後方確認などが行われました。団員たちは、有事の際に安全かつ速やかな移動ができるよう、真剣に取り組みました。